

# うみほし通信

2016  
vol.67

秋

より見やすく、楽しく!リニューアル第3号。

歩くとふんわり。  
紅葉、落葉。



**ümihoshi information**

丹後 海と星の見える丘公園

アクセス

京都府  
兵庫県  
大原  
宇治  
宮津  
網野峰山方面  
天橋立  
与謝天橋立IC  
宮津天橋立IC  
京都駅・大阪駅  
KTR 宮津線  
京都縦貫自動車道  
国道178号線  
京都後鉄道「天橋立駅」  
波見口バス停下車徒歩約30分(約2km)  
「海と星の公園下」バス停下車徒歩約15分(風の谷に続く急な山道です)

問合せ・申込み

京都府立丹後海と星の見える丘公園

開園時間 9:00~17:00(7~9月は20:00まで)  
休園日 木曜日(祝日除く)及び年末~2月末  
入場料無料/駐車場 200台(無料)

Tel. 0722-28-9111 / Fax. 0722-28-9025  
e-mail: e-ds@eco-future-park.jp  
<http://www.eco-future-park.jp>

ümihoshi 通信発行  
公園指定管理者  
 NPO法人 地球デザインスクール

おかげさまで  
開園 10周年

Contents

Special  
里波見とうみほし

～昔と今とこれからを語る～  
海と共生、森と共生  
地域と共生

イベントスケジュール  
～うみほし公園のイベントを紹介

NEWS

「チェーンソー講習会の様子。  
立木を倒し、ご満悦。」



# うみほしの「音」が「音楽」になりました。

## うみほしクイズ

秋は、昆虫が元気いっぱいに活動します。

うみほし公園では、たくさんの虫が飛び交い、草原からは鳴き声が聞こえます。虫の中には、気をつけないと危険なものもいます。

クイズで学んで公園を楽しもう！



### 【危険な昆虫】

秋はハチが攻撃的になる季節です。

特に気をつけたいのがスズメバチ！クイズで学ぼう！

**Q1 巣に近づくとハチはアゴを動かして音を出して警告します。それはどんな音でしょう？**

- ① カチカチ
- ② パタパタ
- ③ キンキン

ハチに刺されない為に気を付けよう！！  
 ・黒い服は着ないようにする。  
 ・香水などの化粧品はつけない。  
 ・ハチを叩いたり・払ったりしない。

### 【秋によく見る昆虫】

**Q2 コオロギはみんな鳴くの？**

- ① オスのみ
- ② メスのみ
- ③ みんな鳴く



**Q3 コオロギの耳はどこにある？**

- ① 頭
- ② 触覚
- ③ 前足



**Q4 コオロギの音はどこから出しているの？**

- ① 口
- ② 羽
- ③ お尻



【とっしー】

夜に活動するコオロギは、  
触覚が目の役割もするんだよ！  
昆虫は不思議がたくさん！面白いな！

### 小松正史(こまつ・まさふみ)

作曲家・ピアニスト・音育家・京都精華大学人文学部教授・博士(工学)。大阪大学大学院修了。学問の専門分野は音響心理学と聴覚生態学。BGMや環境音楽を作成し、ピアノ演奏を行う。数多くの映画や映像作品に楽曲を提供。背景音にこだわった音の聴き方を提案。ユーザーの感覚にマッチしたサウンドデザインを行い、目に見えない魅力づくりを音で追求。京都タワー・京都国際マンガミュージアム・京都府立丹後郷土資料館をはじめとした公共空間のサウンドデザインを実践。著書・CD多数。



<http://www.nekomatsu.net>

～環境音楽とは～(※)

ある空間の背景で鳴らされている「壁紙」のような音楽のこと。  
空間の雰囲気をよくする引き立て役や、かくし味のような存在。

Q1 このアルバムを制作した経緯は？

春に公園で開かれていた「アースデイ丹後」でピアノ演奏の出演依頼を連続2年いただき、さらに今年は、公園が開園10年という節目なので、記念のオリジナル環境音楽(※)をつくってほしいと依頼されました。その場にふさわしい音楽を特別に制作すると、空間が音によってさらによくなるという思いで、「ここにしかない特別な音楽をつくることになつたんです。でも、音楽だけでは物足りない。この公園にしかない音のスペイスを入れると、もっと盛り上がる感じじゃないか」と、実際に聞こえる環境音をフィールドレコード収録(音風景)を実践しました。

Q2 特に口ケーションしたときの印象に残っている音は？

来園者の「声」ですね。この公園の良さは、敷地内にとどまらず、田圃や川、そして海までも含めた「面」のよくながめがあります。公園を降りていくと田圃があるので、ちょっと田植えのタイミングに遭遇したのです。かさず録音しました。そのときの参加者たちの声、笑い声や泣き声、スタッフの声かけや、田植えが終わって、集合写真を撮ったときの「ピース！」という声が印象に残りました。それを3曲目の「ファミリー」の中で使っています。公園の外にある音だけれども、それがこの公園の土台を担っているような気がします。あとで、口ケーションタイミングに、私の母校・宮津高校のフィールド探究同好会の生徒さんや先生たちと一緒に海岸を観察したこと。そこで聞いた波の音も曲目の「夕焼けの海」に入れました。特徴的な音としては、金沢工業大学の土田義郎先生が考案した「橋立風鈴」のかろやかな音、そして宇治市植物園の曾和園長がコーディネートした「手簫」の音。それを6曲目の「子どもの森」に入れました。この公園を舞台にさまざまな「ト・モノ」が生まれ出され、来園者やスタッフのココロを刺激しています。そんな循環を今回の環境音楽に刻印したかたんです。

**Q3 公園内で楽しめる特別の「音の聴き方」をアドバイスしてください。**

この公園の素晴らしいところは、公園のある小高い高台(森)と海が隣り合わせに位置しているところです。「里波見(さとはみ)」という地名の通り、海の波を里山であつた公園から見る(眺める)シチュエーションが、他の公園には真似できない良さです。そこで聞かれる音は、海と森の響きが同時にミックスされ、耳に届くこと。例えば、漁船のエンジン音と海鳥の音、そして森の野鳥や樹木の葉擦れ音が「同時」に聞こえます。多種多様な音が豊富に聞こえてくる環境は、間違いなくそこにある生態系のクオリティの高さでもあります。しかも公園は高台があるので、下に位置する海音がほどよく立ち昇ってくるんです。自然のミックスがどこからでも楽しめる絶好の場所。だから、園内を歩きつつ、環境音がダイナミックに移り変わる感覚を、耳や全身からしつかり味わってほしい。目を動かすことは多いけれども、耳のチャンネルも全開に、五感でうみほし公園を味わってほしいですね。

### パークアンビエンス

～うみほし公園のための

ピアノアンサンブル～

小松 正史



01. パークアンビエンス [鳥の声] (Park Ambience)
02. 地球の道 [足音] (The history pass of the earth)
03. ファミリー [田植えの歓声] (Family)
04. うみほし体操 (Umihoshi exercise)
05. 大地の水 [川の音] (Water of the earth)
06. 笑顔 (Smile)
07. こどもの森 [橋立風鈴／手簫] (The forest for Children)
08. 疾風 (Gale)
09. 夏の終わりに [雷雨] (In late summer)
10. 冬支度 [焚き火] (Preparation for winter)
11. 春の到来 [鳥の声] (The coming of spring)
12. フリーウォーク [足音] (Free walk)
13. 森のカツバ [賑わいの音] (The forest cafe)
14. 夕焼けの海 [波音／漁船] (Sunset in the ocean)

全14曲収録 60分 2,500円(税抜価格)  
2016年10月15日リリース。



### アルバムの購入方法

うみほし公園の事務所で購入できます。  
また、「よし乃や(宮津市大垣48)」「nagaya cafe 桜山(京都府宮津市字万年1番地)」をはじめ、通販(Amazonや小松正史公式サイト)でも流通しています。

## うみほしDAY ～ピアノ生演奏ライブスペシャル♪～

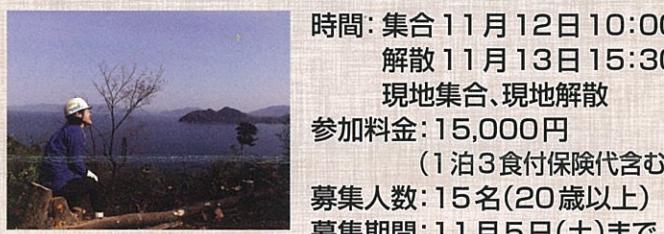
11/6(日)  
11月のうみほしDAYはピアノ生演奏ライブ!  
開園10周年特別企画として誕生した小松正史氏による「パークアンビエンス」。このアルバムの中から数曲を、小松正史氏の生演奏でお聴きいただけます。  
芸術の秋、自然のコンサートホールにお越しください♪

参加料金:無料  
場所:子どもの森  
時間:12:15 ~ 13:00



## 森人俱楽部(もりんちゅくらぶ) ～秋のみちづくり編～

11/12(土)  
～13(日)  
1泊2日  
初心者、女性の方も大歓迎!チェーンソーなどの道具を使いながら、一緒に手づくりの道をつくりませんか?  
運動の秋、自然の中で体を動かしましょう♪



時間:集合11月12日10:00  
解散11月13日15:30  
現地集合、現地解散  
参加料金:15,000円  
(1泊3食付保険代含む)  
募集人数:15名(20歳以上)  
募集期間:11月5日(土)まで

## 冬ガキになろう!2016

12/25(日)  
～26(月)  
1泊2日  
今年はクリスマスSP!みんなで一緒にクリスマスを楽しもう♪雪が積もっていたらスノーシューハイクや雪遊び、かまくらづくりもしちゃうかも!?



参加料金:15,000円  
(1泊4食付)  
募集人数:20名  
最少催行人数:10名  
参加対象:小学1～6年生  
募集期間:12月9日(金)まで



うみほし公園の広さってどれぐらいかご存知ですか?およそ140ヘクタールといいますから甲子園38個分にあたります。大部分が森ですが(笑)

うみほし公園がこの夏で10周年を迎えました。こんなに大きな施設がどのようにして生まれたのか。はたまたそれ以前はどんなところだったのか、その歴史を知る地域の方々にうかがいました。

丹後は有史以前から日本海に面した大陸との交流の要所であったことは広く知られています。公園のある里波見も、近くの地区で縄文土器等が多く出土するなど、歴史のあるところだということがわかります。そもそも「波見」とは「花浪」が語源と言われていて眼下の日本海の荒れた波が岸壁に打ち寄せ、飛び散る様子が花が開くのに似ていることからだそうです。

里波見を含めた丹後全体をリゾート化しようという計画がバブル以前1980年代に持ち上りました。京都府北部全域という壮大な計画でした。バブル期から、やがてバブル崩壊とともに計画は頓挫(とんざ)。この広大な敷地は人の手の入らない森となってしまうのです。

公園のある場所は、集落のある波見川の北側に比べて住むのにも不便。話を伺った皆さんも田畠や山林だけを持つていらした様です。その田も深くて木材を沈めて足場にしたり、そもそも水を引くのに苦労したり、耕地として良い場所だったとは言えないようでした。本来ならリゾート化は「渡りに船」だったのかもしれません。

当初の計画からの糾余曲折を経て、うみほし公園として整備されることに。地域の方々は「最初は、何をしとるんかなあと思った」(笑)といいます。

しかしサポートとして公園内でお手伝いいただくことや体験等の指導を通

波見の五つの谷にまたがる地域が  
うみほし公園になった。

special

# 里波見とうみほし ～昔と今とこれからを語る～

海と共生、森と共生、地域と共生

最初は、何をしとるんかなあ  
と思つとつた(笑)

じて深くかかわっていただいたり、カフェの運営に「里波見カントリーフレンズ」の皆さんに参加していただいたりすることで、公園との関わりは確実に深まっているとも。

実際のところ地域の子供の数は片手に余るほどだと言います。「うみほしに来た子供たちが海に出てきてくれるのが嬉しい」。また公園が守り育てる生態系への関心もあって、「赤とんぼ(ハツチョウトンボ)は増えとるんか?」「あそここの池には何が居るんや?」といったご質問もいただきました。最後は地域一番の悩みかもしれない獣害、具体的には猪や鹿への対策等も話題に。

「僕らも山を駆け回って遊んだ。そうした環境がここにあることがいい」と。海と山、そして地域との共生を感じたひとときでした。



春にササユリが咲くのが楽しみ。

ümihoshi  
おかげさまで  
開園10周年

うみほしビフォー  
→アフター!

冒険の森から芝生広場全景



キッチンガーデン

